

公益社団法人富山県獣医師会会長就任にあたって



公益社団法人富山県獣医師会
会長 松村 隆治

去る令和7年6月4日、ゴルフアートとやまにおいて開催されました、令和7年度公益社団法人富山県獣医師会定時総会において、役員改選がなされ、新会長に就任しました松村です。

私は、今年の6月まで、獣医師会の常務理事として、7年間勤めてまいりました。その間、会員の皆様には大変お世話になりました。

今回、新会長に就任するにあたって、一言ご挨拶を申し上げます。

獣医師というと、一般県民の皆様意識では、動物病院の先生のイメージが強いと思いますが、実はそれだけではありません。産業動物の診療や鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の予防や畜産の普及、公衆衛生部門では、食肉検査や厚生センターでの感染症の予防や狂犬病の予防、また、動物の福祉及び愛護分野での支援、災害時動物救護に関係すること等等。

このように、獣医師は多岐にわたる業務に対し、専門家として精通し、動物に関する保健衛生の向上や動物を介し人の保健衛生にも強く関与し、寄与しています。

また、近年日本獣医師会も進めています「ワンワールド・ワンヘルス」の推進として、人と動物が共存する豊かな社会の形成に貢献すること等を目指しています。

私は、これにワンウィッシュ（思いは一つ）を付け加えたいと思います。多岐にわたる獣医師の業務をそれぞれの立場で一生懸命努めています。

突き詰めれば、獣医師とは、このように多岐にわたる業務に対し、獣医師が専門の技術と知識をもって、人の暮らしの中で重要な役割を担っており、立場は多少違いますが、同じ方向を目指していると考えています。

公益社団法人富山県獣医師会としては、このような獣医師会員を支援するとともに、公益法人として、今後ともさらなる貢献をしていくつもりであり、このことを広く県民の皆様にお伝えしたいと思っています。